



北斗句会

七月定例会（メール句会） 兼題「花」「夕」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

睡蓮や朝飯前の寺参り 大崎石州

蛍来て闇に濃淡つけて去る 太田黒幸風

夕立の予兆に終ふ畑作業 大森康政

父の日やひねもす介護手を抜けず 竹内雲泉

直さんの通りし道や立葵 田中資凡

荒梅雨や更けて山鳩啼き止まず 長池豆陽

夕顔の白さひとときは闇の中 深見十方

青田風筑波山は雲の湧くところ 藤田紀潮

揚げ花火コロナの治療ありがたう 宮下ひかる

奈良井宿旅人駆くる大夕立 森田光彦

早朝の精気を貰ふ蓮の花 山縣秀雄

躓きて脛を蹴飛ばす初浴衣 吉岡誠山



夕立あとあたりを払ふ天守閣 石田きよし